

学校教育目標 「生き生きした 活力のある子」



学校だより

さいたま市立大牧小学校

平成29年度

6月号

No.403

平成29年6月1日

発行

6月の目標

◎室内の過ごし方を工夫しよう

- ・室内では静かに過ごそう。
- ・校内では右側を歩こう。

ともだち

校長 澤田直樹

プールの脇の紫陽花の葉が鮮やかな緑色になり、蕾の中に花も咲き始めています。今年もつばめが、校舎の壁に巣を作り、餌をとっては雛のところに何度も運び、子育ての真最中です。早く大きくなって巣立つ時を心待ちにしています。



先週、学校探検で1年生が校長室を尋ねに来ました。1度目は、2年生と一緒に探検でしたが、今度は1年生だけです。入る時の挨拶もしっかりとでき、自分のクラスと名前をはっきりと言って握手をしながら名刺交換をして満足そうな笑顔を見せてくれました。入学して2カ月がたちとても立派な態度でうれしくなりました。

ところで、6月は、子どもたちが学校生活に慣れ、特に児童が内面にストレスを抱え込みやすく、学校生活に適應できないという問題が発生しやすい時期になります。さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」と定め、様々な取組をとおして、いじめの防止や早期発見・対応などに努めております。

そこで、今月のお話朝会では、次の3つのことと谷川俊太郎さんの「ともだち」という本を読みました。

1 いじめをする子は、許しません。

相手が嫌がっていることを知っていて、嫌なことをいったり、やったりするのは「いじめ」です。それは、人間としてやってはいけないとても卑怯なことです。遊びのつもりでも人の嫌がること「いじめ」をしてはいけません。

2 「いじめ」を見て知らない振りをしている子も、許しません。

いじめられている子が、平気そうな顔をしていても、心の中は大きく傷ついています。ひどい言葉や嫌なことをされているのを見ても見ない振りをする子もいじめている子と同じ卑怯なところを持っています。

3 あなたには、「いじめられる」理由はありません。

大牧小学校に通う一人ひとりが、とても大切な人です。お父さんやお母さんが、心をこめて大切に育てています。先生たちにとっても大切な宝物です。あなたがいじめられる理由はありません。

是非、ご家庭でもお子さんが生まれた時のことやみんなが大切に思っていることをお話してください。子どもは、自分は勿論、他人も大切に思う子が育つと思います。

この他にも、いじめは「どの学校でも、どの子にも起こり得る」問題であることを再認識し、定期的なアンケート調査の他、いじめ撲滅に向けた学級スローガンづくり、児童会によるいじめ撲滅キャンペーンを展開してまいります。いじめ撲滅のため、何か気になることがありましたら担任や学校へご相談ください。いじめを絶対に許さない、強い心と思いやりの心をもった子どもたちの育つ、希望あふれる学校づくりを進めてまいりたいと思います。

5月26日（金）には、引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。